

劣卑な分裂攻撃

体制固める東庄労組

七月十四日、筑後市市民会館で分裂大会を開いた東庄労組内部分裂大会を前に「あけぼの会」一派は勝手に選んだ「全国大会代表議員」により金栗庄労組大会に出席し、「合化労連脱退」を決議した。

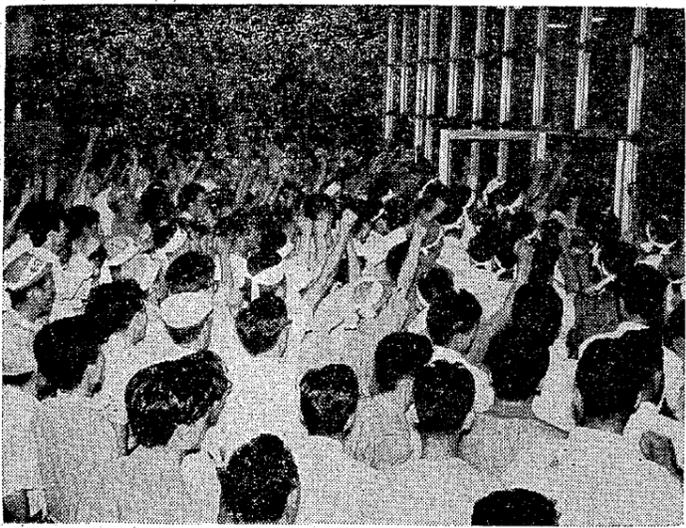
一方、東庄労組は七月二十六日大牟田市市民会館で組織防衛決議集会を開きあくまでたつたか決意を固めた。

大会決定は無効

七月二日付けの一部の新聞は「東洋高圧労組大会で合化労連脱退を決定」と報道したが、事実はそのとおりである。

久保委員長らが指導して西支部の脱退派を中心としてつくりだされた第二組合から選ばれたもので、その資格は疑問が多い。しかも「臨時大会」の二〇日午後四時には砂川支部執行部の地位保全の仮処分申請(第二組合執行部は砂川支部執行部に対して「組合事務所を明け渡し、職場に戻れ」と強要)に対して札幌地裁岩見次支所は「現執行部は七月三日まで(定期大会まで)その地位を有する」とし、分裂組合の「執行部」に対して「執行部としての活動を許さないとしない」との仮処分を決定した。

この仮処分によれば「臨時大会」は、その資格は無効ということになる。大牟田支部でも七月十四日に大久保委員長らの指導と体制の応援で脱退派を中心とした第二組合(約七百人)がつくられ、そこで「臨時大会代表議員」が選ばれ



14日、分裂大会に会場前で抗議する組合員

た。この第二組合は東洋高圧労組の支部を名乗っているが規約にもとつたものではない。合化労連では「臨時大会」は無効だとして

立法化へ協力

う崎知事労災を見舞

う崎知事府知事は去る七月十九日午後二時から大牟田労災病院を訪れ、入院患者や三池労組ガスを



遺族・被災者の実情をきくう崎知事

同病院内での患者との懇談会では、おりに新聞報道された検査庁の「三池炭鉱の責任者不起訴」の問題がとりあげられ、あくまでも責任追及に努力してもらいたいこと、また三年目を迎えるので知事としても解雇の問題で三井に強く要請してもらいたいこと、さら

史上初の労働者政権

「バリ燃ゆ」 大仏次郎著

私の書棚

バリ・コミュニーと強く支持した「話」は有名である。彼は、この経験によって「労働者階級は既成の国家機関をそのまま包圍して、それを自分自身の目的のために動かすことはできない」と証明した。さらに、このコミューンの闘いを研究し、教訓を發展させ、ソビエト権力を立ち上げたレーニンへと受けつがれていく。

「バリ燃ゆ」はこのバリ・コミューンをテーマとして、一八五〇年からの労働者が立ちあがったこと、また三年目を迎えるので知事としても解雇の問題で三井に強く要請してもらいたいこと、さら

部長、課長でも

対等な人間だ!

説得をハネ返す(下)

前「回」に引き続き、本所支部資料分会の五人組のたかひを紹介し、前「回」を要約する。昨秋来の五人組の中の二人の女性を中心に、係員のはげしい説得活動がおこなわれた。これに対する抵抗手段を五人組で討議した結果、二人の女性は職場で、とくに女子労働者に強制される私用や雑用(余分なお茶くみ、弁当の注文など)を一切拒否することをきめ実行した。この結果、職場での権威をさびやされた体制はついに防衛の立場におさまれ、説得はもんだ。しかし、それとあわせて三井ではなかった。しきの攻撃がかかってくる。

【出席者】

- 山本 秀雄さん(組長)
- 西田イッヒさん
- 奈良ツヤさん
- 松島 清さん

「注文もとらんから」

と配転を強制し、その後会社は抵抗におおされてついに奈良さんと組長の山本さんを配転するという不当な攻撃をかけてきたのですか?

「四月に会社は奈良さん、中央倉庫に行くように配転攻撃をか

た人はいないの



組長が組合員

このようないを組むなかで、さまざまな問題はあったが、組長を組合員だと思つて、一人にかかってくる攻撃を少しもはやくつかんで、みんなのものにひろげることが五人組の意味だと山本組長は語っている。

(おわり)

夏期文芸募集

創作、詩、短歌、俳句、随筆、作文などの組合員・家族の作品を募集します

締切り 8月9日まで

送り先 三池労組本部編集部

発行所 朝日新聞社

三川支部 大阪間貞信

格的自覚が結びついて、三月十八日へとすすんでいく。

「バリ燃ゆ(上) 大仏次郎著 定価一、四〇〇円